

仕様

型名	ZR-241			
種類	冷凍冷蔵庫			
定格内容積	256L（冷凍室93L） （冷蔵室163L）			
外形寸法	幅	555mm		
	奥行	635mm		
	高さ	1610mm		
質量		55kg		
電源	定格電圧	100V		
	定格周波数	50/60Hz共用		
電動機定格消費電力		86/94W		
電熱装置定格消費電力（霜取り時）		115/115W		
消費電力量		冷蔵室ドアの内側に表示しています		
電源コード（有効長さ）		1.95m		

	付属品	個数
冷蔵室	冷蔵室棚（大）	2
	冷蔵室棚（小）	1
	野菜ケース	1
	小物ケース	1
	エッグケース（フリー卵棚つき）	1
	フリーポケット	2
	ボトルポケット	1
冷凍室	透明氷製氷皿	1
	貯氷箱	1
	冷凍室棚	1
	冷凍ケース（大）	1
	冷凍ケース（小）	1
	脚力バ－	1

■この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

お客様サポートセンター

修理・お取り扱い・消耗品や部品のご購入などのご相談は、弊社お客様サポートセンターにお問い合わせください。

所在地、電話番号などは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

お客様サポートセンター フリーダイヤル **0120-161914**

受付時間 10:00～19:00 年中無休

携帯電話・PHSの方はこちらへ Tel (03)5774-0947

■ファクシミリでのお問い合わせ Fax (03)5467-0431 株式会社リアル・フリート

製品の「品番・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・FAX番号」をご記入のうえ、お問い合わせください。

amadana

冷凍冷蔵庫
Refrigerator-Freezer
型名：ZR-241



- ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 「保証書」は「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受取りください。
- 「取扱説明書」と「保証書」は大切に保存してください。

取扱説明書

3	安全のために必ずお守りください お使いになる前に
4	据えつけから運転開始まで 使いかた
5	各部のなまえと使いかた
6	温度調節のしかた
6	上手な使いかた
7	冷凍室の使いかた
8	冷蔵室の使いかた
	お手入れ・困ったとき
9	お手入れのしかた
9	こんなときは 停電・長期間使わないとき・運搬
10	故障かな？と思ったら
11	保証とアフターサービス
12	仕様

安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。 ■図記号の意味は次の通りです。	 絶対に 行わない	 絶対に 触れない	 絶対に 分解・修理・ 改造はしない	 絶対に水を かけたり、 水でぬらさない
■異常及び不具合が発生したときは、ただちに運転を停止し、「お客様サポートセンター」にご相談ください。	 必ず指示に 従い行う	 必ず電源 プラグをコン セントから抜く	 必ず アース線を 接続する	 絶対に ぬれた手で 触れない

警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

地震にそなえて丈夫な壁や柱に固定する 冷蔵庫が倒れ、ケガの原因になります。 (4ページ参照)	 転倒防止	アースをする アースが不完全な場合は、感電・火災の原因になります。 (4ページ参照)	 アース線接続	電源は交流100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使う 延長コードの使用、タコ足配線は、発熱・火災の原因になります。(4ページ参照)	 100V・15A以上
屋外、水のかかる所や湿気の多い所には据えつけない 絶縁不良により、感電・火災の原因になります。(4ページ参照)	 水ぬれ禁止	冷蔵庫の周囲は隙間をあけて据えつける 冷媒がもれたときに滞留し、発火・爆発の恐れがあります。 (4ページ参照)	 すき間をあけて	冷蔵庫の冷媒回路(配管)を傷つけない、ネジ等打たない 可燃性冷媒を使用していますので、発火・爆発の恐れがあります。	 禁止
薬品や学術試料を保存しない 厳しい管理が必要な物は、家庭用冷蔵庫では保存できません。	 貯蔵禁止	可燃性スプレーは近くで使わない 電気接点の火花で引火・火災の原因になります。	 使用禁止	水を入れた容器を上に乗かない 電気部品にかかると感電・火災の原因になります。	 水ぬれ禁止
ガスもれに気づいたら冷蔵庫に触れず、窓を開けて換気する 電気接点の火花により爆発・火災の原因になります。	 換気	水洗いしたり、食汁をこぼさない 水・食汁がかかると、感電・火災の原因になります。すぐにふき取ってください。	 水かけ禁止	揮発性の引火しやすいものを入れない ベンジン、化粧品、整髪料は、引火・爆発の原因になります。	 貯蔵禁止
冷媒回路を傷つけたときは、冷蔵庫に触れず火気の使用を避け窓を開けて換気する 冷媒回路を傷つけたときは、お客様サポートセンターにご相談ください。	 換気する	庫内では電気製品を使用しない 庫内に冷媒がもれていると電気製品の接点の火花で発火・爆発の恐れがあります。	 禁止	冷蔵庫の上に不安定な物を置かない ドアの開閉などで落下し、ケガの原因になります。	 禁止
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因になります。	 ぬれ手禁止	庫内灯は指定の定格のものを使う 指定以外のものを使うと火災の原因になります。 (9ページ参照)	 指定品使用	電源プラグのほこりを取る 絶縁不良になり、火災の原因になります。	 ほこりを取る
傷んだコードやプラグ、差し込みがゆるいコンセントは使わない 感電・発火の原因になります	 使用禁止	電源プラグはコードを引っ張って抜かない コードが傷み、感電・発火の原因になります。	 禁止	庫内灯の交換やお手入れのときは、電源プラグを抜く 感電・ケガの原因になります。	 プラグを抜く
異常時(こげ臭いなど)は、電源プラグを抜き、運転を中止する 異常のまま運転を続けると、感電・火災の原因になります。	 プラグを抜く	電源プラグはコードを下向きにし刃の根元まで差し込む 逆に差し込むとコードに無理がかかり、発熱・発火の原因になります。	 コードは下向き	電源プラグを冷蔵庫の背面で押しつけない 電源コードを傷つけない 押しつけたり、重いものをのせたり、折ったり、束ねたりすると、感電・火災の原因になります。	 禁止
ドアやハンドル(取っ手)にぶらさがらない、庫内に入らない 冷蔵庫が倒れたり、ケース等が割れてケガなどの原因になります。また子供が庫内に入り閉じ込められると危険です。	 禁止	分解・修理・改造をしない ケガ・感電・火災の原因になります。	 分解禁止	保管時の幼児閉じ込めが懸念される場合は、ドアパッキングを引っ張ってはすず 閉じ込められると危険です。	 パッキングはすず
長期間使わないときは、電源プラグを抜いてから、ドアを開けて乾燥させる 乾燥が不十分な場合、冷却器腐食による冷媒(ガス)もれの原因になり、発火・爆発の恐れがあります。	 乾燥させる	廃棄するときは、お客様サポートセンターや市町村に引き渡す 放置し、冷媒もれが発生すると、火気による発火・爆発の原因になります。	 引き渡す		

注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋、家財などの損害に結びつくもの

床が丈夫で水平なところに調整脚でしっかり固定する 冷蔵庫が移動し、ケガの原因になります。(4ページ参照)	 水平に据付	運搬するときは、2人以上で持って移動する 持ちかたが悪いとケガの原因になります。(9ページ参照)	 取っ手を持つ	食品を無理につめ込まない 棚を強く引き出さない 食品が落下し、ケガの原因になります。	 禁止
冷凍室にビン類を入れない 中身が凍って割れると、ケガの原因になります。	 貯蔵禁止	におったり、変色した食品は、食べない 食中毒や病気の原因になります。	 禁止	ぬれた手で冷凍室の食品や容器に触れない 凍傷の原因になります。	 ぬれ手禁止
冷蔵庫の底に手、足を入れない 鉄板などでケガをする原因になります。	 接触禁止	冷蔵庫背面の機械部に手を入れない ヤケド、ケガの原因になります。	 接触禁止	ドアは取っ手を持って閉める 指をはさまないように持つてください。ケガの原因になります。	 取っ手を持つ

REALFLEET

REALFLEET co., Ltd. m²Harajuku 5F, Jingumae 6-27-8,
Shibuya, Tokyo Japan 150-0001 tel: 03-5774-0947 fax: 03-5467-0431
info@amadana.com

お使いになる前に

据えつけから運転開始まで

据えつけ場所は

日陰で、熱気の当たらない風通しのよいところ
冷却力の低下を防ぎ電気代を節約

湿気が少ないところ
さびの発生を防止

丈夫で水平なところ
振動や騒音を防止
半ドア、ドア下がりの防止
■冷蔵庫の脚が沈みやすい床材（じゅうたん・畳・塩化ビニール製など）は、下に丈夫な板を敷いてください。（熱による変形・変色の防止）

他の機器から離れたところ
テレビなどへの雑音や映像の乱れを防止

周囲に放熱スペースをあけて

左右2cm以上、天井10cm以上あける
天井や側面から熱を逃がすため

本体外側は熱くなります
使い始めや夏場は
約50℃～60℃以上になることもあります

警告

冷蔵庫の通気口や、周囲のすき間をふさがない。
冷媒がもれたときに滞留し、発火・爆発の恐れがあります。

感電事故防止のため アースすることをおすすめします

アース端子がある場合
アース線をアース接続ねじ(⓪ 記号)に接続し、アース端子に取りつける。なお、アース線（市販の銅線直径1.6mm）は電気店などで買い求めください。
特に土間・洗い場・地下室など湿気の多い場所に据えつける場合は必ずアースをしてください。

背面下部

専用コンセント
電源100V

アース端子

アース線（銅線直径1.6mm）

アース接続ネジ

アース端子がない場合
お客様サポートセンターに依頼し、アース工事をする。（D種設置工事・有料）

接続してはいけないところ

- 水道管・ガス管（感電・爆発の危険）
- 電話線のアースや避雷針（落雷のとき危険）

特に水気の多い場所に設置する場合
アースの他に漏電しゃ断器の設置が義務づけられています。
お客様サポートセンターにご相談ください。

警告

アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

早く冷やすためにお守りください。

電源を入れてもすぐには冷えません。
通常は約4～5時間かかります。
据えつけ後、すぐに電源を入れても機械を傷めることはありません。冷えるまでに時間がかかるので、なるべく早く電源を入れてください。

- 食品はすき間をとって入れる。
- 冷えていない食品やアイスクリームは、冷蔵庫が十分に冷えてから入れる。
- ドアの開閉は少なく、短くする。

特に夏場の暑いときには、最初の氷ができるまでに約24時間かかることがあります。

脚を調整し水平に固定

調整脚を床につくように回し、水平に固定する
振動・騒音の防止、移動の防止、半ドア防止。

警告

不完全な場合は、冷蔵庫が移動してケガの原因になります。

調整脚

矢印の方向に回すと高くなります。

改造しない

警告

本体外側からのネジ止めなどの改造をしない。
本体断熱材内部には電線や可燃性冷媒の流れるパイプが埋めこまれているため、ネジ止めなどを行うと故障や感電・発火・爆発の恐れがあります。

地震にそなえて

背面上部の手掛け（2カ所）に丈夫なベルトを通して、壁や柱などの丈夫なところに固定する。
冷蔵庫用転倒防止ベルト（別売）は、お客様サポートセンターにご相談ください。
型名 MRPR-02BL

警告

冷蔵庫が倒れてケガの原因になります。

ベルト

電源は冷蔵庫専用で

100V・定格15A以上のコンセントを単独で使用する

警告

100V以外の使用やタコ足配線は、発熱・火災の原因になります。

ノンフロン冷蔵庫について

冷媒回路（配管）を傷つけない、ネジ等を打たない
ノンフロン冷媒は可燃性ですが、冷媒回路内に密閉されており、通常はもれ出すことはありません。

警告

万が一冷媒回路を傷つけてしまったら
1.火気や電気製品の使用をさける
2.窓を開けて十分に換気を行う

その後、お客様サポートセンターへご連絡ください。

使いかた

各部のなまえと使いかた

庫内灯カバー
庫内灯（内部）
(9ページ参照)

冷蔵室温度調節つまみ
(6ページ参照)

冷凍室温度調節つまみ
(6ページ参照)

冷蔵室棚（小）

野菜ケース

透明氷製氷皿
※図の位置にセットしてお使いください。

貯氷箱

冷凍ケース（小）

冷凍室棚

冷凍ケース（大）

蒸発皿
■蒸発皿は背面にあります。
■蒸発皿には霜取りの水がたまり、自動で蒸発します。

冷蔵室棚（大）

エッグケース（フリー卵棚つき）
(8ページ参照)

ドアパッキング

フリーポケット

小物ケース
(8ページ参照)

ボトルポケット

ドアパッキング

脚カバー

3～9℃

0～6℃

3～9℃

-21～-17℃

お知らせ

- 図中の温度は周囲温度30℃で食品を入れずにドアを閉め、温度が安定したときに、庫内のほぼ中央下寄りで測定した温度の目安です。温度調節つまみは冷凍室、冷蔵室をそれぞれ「MID」に合わせています。
- ドアの開閉や食品の量、入れかたにより温度は変化します。
- 庫内温度のはかりかた（11ページ参照）

お願い

- 引出し式冷凍ケース（大）に20kg以上〈冷凍ケース（小）に14kg以上〉の重いものや水などは入れないでください。冷凍ケースが変形したり、割れたりすることがあります。

使いかた

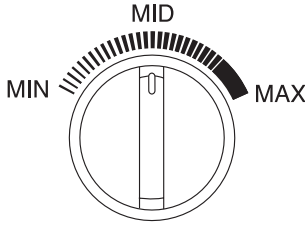
温度調節のしかた

冷蔵室

通常は「MID」の位置でお使いください。

冷蔵室温度調節

REFRIGERATOR CONTROL



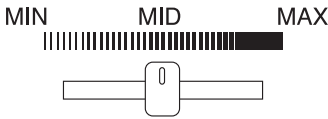
つまみ	使いかた
MAX	さらに強く冷やしたいとき。夏季など周囲温度が高いとき。
MID	通常
MIN	冷えすぎたり凍結したとき。

冷凍室

通常は「MID」の位置でお使いください。

冷凍室温度調節

FREEZER CONTROL



つまみ	使いかた
MAX	冬季などに冷凍室の冷えが弱いとき。強く冷やしたいとき。
MID	通常
MIN	冷凍食品がないとき。短期間の冷凍食品を保存するとき。(1ヵ月程度)

室温により温度調節が必要な場合があります

冬季など冷凍室の冷えが弱いとき

■冬季などの周囲温度が低いときに冷凍室のつまみを「MAX」にしても冷凍室の冷えが弱い場合

▶

冷凍室つまみは「MAX」の位置にする。
冷蔵室のつまみは「MAX」側にする。

■冷蔵室の温度により圧縮機の運転をするからです。
■全体的に冷却力が強まり、冷凍室も冷えます。
※春季などの周囲温度が上がった時は各つまみを「MID」の位置に戻してください。

夏季など冷蔵室の冷えが弱いとき

■夏季などに冷凍室のつまみを「MAX」で使っているとき、冷蔵室の冷えが弱い場合
■夏季など周囲温度が高いときやドアの開閉が激しいとき、冷蔵室のつまみを「MAX」にしても冷蔵室の冷えが弱い場合

▶

冷凍室のつまみは「MIN」側にする。

■冷気が冷蔵室へより多く送られます。
※連続して冷凍室つまみを「MIN」側にすると冷凍食品がゆるむことがあります。

上手な使いかた

節電しましょう

つめすぎると冷却効率が悪くなります。
■食品はすき間をとって入れる。
■ドアの開閉は少なく、短く。

わずかな扉のすき間でも、霜がついたり冷えなくなります

■食品・ビニール袋・電源コードなど、扉を閉めるときにはさまないようにしてください。

冷蔵室の食品を凍結させないために

■温度調節つまみは、必要なとき以外は「MID」の位置にもどしてください。
■水分が多い食品や飲み物は棚の手前に置いてください。

収納のポイント

包んで 乾燥やにおい移りを防ぎます。
冷まして 熱いものは冷ましてから入れてください。

使いかた

冷凍室の使いかた

氷のつくりかた 透明度が高いおいしい氷ができます

1

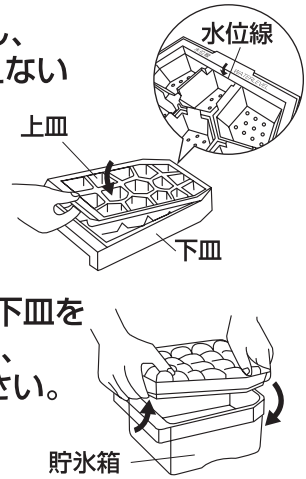
上皿と下皿をセットし、水位線(矢印)をこえないように水を入れる。

2

上皿に透明度の高い氷ができます。

3

氷ができたら上皿と下皿をセットしたままひねり、氷を取り出してください。



お知らせ

■水道水のカルキや気泡を分離しながらつくりますので氷ができるまで時間がかかります。お急ぎのときは、下皿1枚で水の量を少なめにしてお使いください。
水の量によって製氷時間は変わります。
※下皿1枚の場合は、透明度の高い氷はできません。
■ミネラルウォーターなどミネラル分の多い水で作った氷は白色沈でん物(白い結晶)ができることがあります。
これはミネラル成分が結晶したもので、害はありません。
■長時間氷を貯氷したままにすると、氷と氷がくっついたり、小さくなったりします。(昇華という現象です)
■氷に一部白い箇所や気泡ができることがあります。
■次のような場合は氷に白い部分が多くなるなど、透明度がかわることがあります。

- 硬度の高い水を使うとき(ミネラル分が氷の中に沈殿します。)
- 冷蔵庫の周囲温度、使用状態が変化したとき
- 貯氷箱に長時間貯氷されたとき(周囲に霜がつきます。水にいれると透明になります。)

お願い

■下皿にはカルキの多い白い氷ができますので、味にこだわらない用途にご利用ください。
■下皿に白い氷が残ったまま製氷すると透明度の高い氷ができません。氷を取り除いてから製氷してください。
■下図のように、製氷皿を折り曲げたり、過度の力を加えると製氷皿が割れる危険があります。
■割れた場合は使用をやめてください。
■貯氷箱では製氷しないでください。容器が割れることがあります。



冷凍ケース(大)(小)のはずしかた、取りつけかた

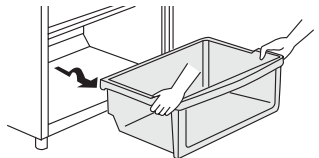
■取り付けるときは、逆の順序で行ってください。

1

冷凍ケースをいっぱい引き出す。

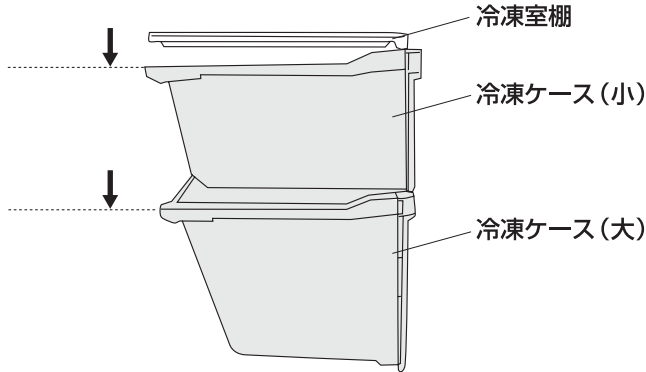
2

手前をもち上げ、さらに引き出してはずす。



お願い

右図の矢印の位置から上にはみ出さないように冷凍ケースに食品を入れてください。
■ドアを閉めたとき、食品が当たって半ドアになったり、庫内に霜が付いたり、冷えなくなる等、故障の原因になります。
■食品や冷凍ケースを破損することがあります。
■食品を入れたあと、冷凍ケースが奥まで確実に収納されたことを確認してください。(半ドアの防止)



使いかた

冷蔵室の使いかた

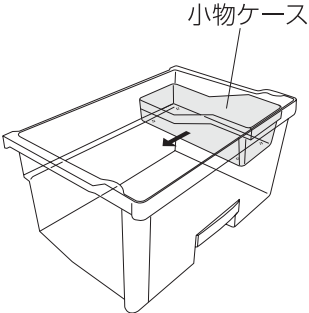
小物ケース

工夫ひとつでいろいろな使いかた

果物や小物野菜の整理

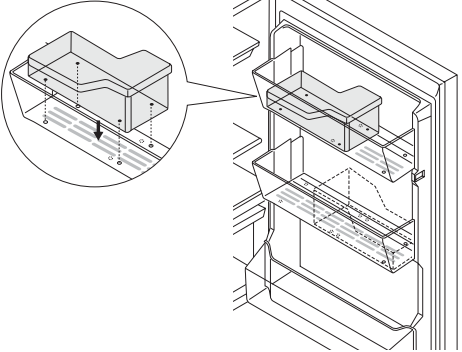
■野菜ケースに小物ケースをセットして使用できます。
(左右にスライドできます)
※必ず絵の方向にセットしてください。

小物ケース



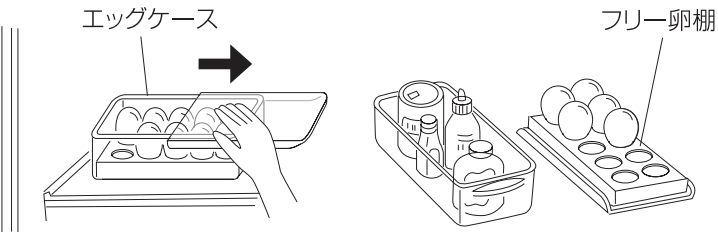
小物の整理

■小物ケースはフリーポケットの左右の端どちらかにセットして使用できます。



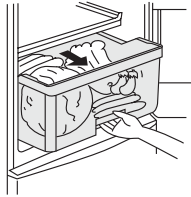
エッグケース、フリー卵棚

工夫ひとつでいろいろな使い方ができるエッグケースとフリー卵棚。



野菜ケース

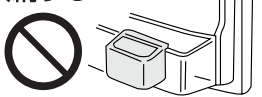
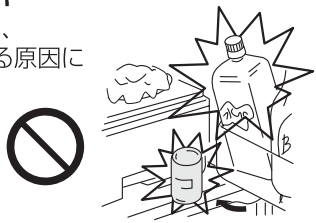
引き出しやすいスライド式



■野菜や果物は、ラップをすると新鮮さがさらに長持ちします。ラップして保存することをおすすめします。
■野菜ケースの下の方には、食品の凍結防止のヒーターが入っており、温度が高くなることがあります。ケースをはずして床に直接、食品を置かないようにしてください。

お願い

- 棚より飛び出して食品を入れない
- ボトルポケット前列には底まで入りきらないビン類を入れない
※半ドアになったり、ビン類が破損する原因になります。
- 野菜ケースの手前に食品を置いたままドアを閉めない
- 野菜ケースは確実に収納する
- ポケットの外側に市販のケース類などをつけない
※半ドアになり冷え具合が悪くなったり、食品が落下し、ケガをしたり、ケースやポケットが破損する原因になります。

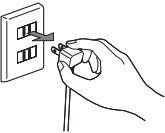


お手入れ・困ったとき

お手入れのしかた・こんなときは

お手入れの前に

電源プラグを抜く



コンセントに再度電源プラグを差し込むときは、10分以上、間をおいてから差し込む。すぐに差し込むと機械が動きません。



警告

抜かないと、感電の原因になります。

お手入れのしかた

油や汚れをとる

- ふき取るか、取りはずして水洗い。
- 油汚れは、布にぬるま湯か食器用中性洗剤を含ませてふく。
(油汚れを放置するとプラスチックが割れる恐れがあります)
- 洗剤はよくふき取る。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、付属の注意書きに従ってください。
ただし、扉表面は乾いた布でお手入れ。
- アルコール・ベンジン・タワシ・アルカリ性洗剤などは使わないでください。
プラスチック部品(キャップ、ケースなど)が割れたり、塗装面を傷めます。
- ドアのハンドル部は、必ずからぶきでお手入れ。
洗剤などは使わないでください。また、テープなど貼らないでください。ハンドルが変色したり、割れる恐れがあります。



警告

外側や庫内に直接水をかけない。(故障や漏電の原因)

冷蔵庫の背面・床

- ① 冷蔵庫を手前に引き出す。
- ② 背面、壁、床の汚れをふく。
背面や床面は空気の対流により、ホコリがたまったり、黒く汚れやすいところです。

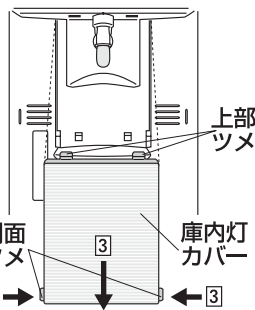


注意

圧縮機は高温になるので直接ふれない。
冷蔵庫の底には手を入れない。(ヤケド、ケガの原因)

庫内灯の交換

- ① 電源プラグを抜く。
- ② 冷蔵室棚(大)をはずす。
- ③ 庫内灯カバーの側面(ツメ付近)を内側に押し、側面ツメをはずし、手前に引き抜く。
- ④ 庫内灯を交換する。
庫内灯は110V・15Wガラス球形T20・口金E12を電気店でお求めください。
- ⑤ 上側のツメを差し込んでから、側面のツメを差し込む。

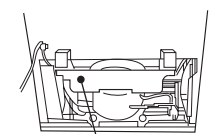


警告

庫内灯は指定品以外を使うと火災の原因になります。
庫内灯を交換するときに電源プラグを抜かずに作業すると感電やケガをする恐れがあります。また、万一、庫内に冷媒がもれていると発火・爆発の恐れがあります。

蒸発皿

- ① 冷蔵庫を手前に引き出す。
- ② 蒸発皿のほこりなどをふきとる。
■蒸発皿がほこりなどで汚れていると蒸発しにくくなり、水があふれたり悪臭の原因になります。



蒸発皿
(背面にあります)



注意

冷媒回路(配管)に直接ふれない、変形させない
ヤケド、ケガ、振動、騒音の原因になります。

お手入れの後に

コード・プラグ・コンセントの点検

- 電源コードやプラグが傷んでいませんか。
- 電源プラグに異常な発熱などはありませんか。
- 電源プラグにホコリがたまっていませんか。
- コンセントがゆるんでいませんか。



警告

電源コードやプラグが傷んでいたり、ホコリがたまっていると感電や火災の原因になります。

こんなときは

◆停電のとき

- ドアの開閉を少なくし、新たな食品の貯蔵はさける。

◆長期間使わないとき

- 電源を抜いてから庫内を清掃し、2~3日間ドアを開けて乾燥させる。
※乾燥が不十分な場合、カビ、においの原因および冷却器腐食による冷媒(ガス)もれの原因になります。

◆運搬

- ① 製氷皿の水や水を捨てる ② 保護具(軍手)を着用する ③ 蒸発皿に水が残っていないことを確認する
■水が残っていると運搬時に床面にこぼれることがあります。
冷蔵庫を傾ける前に、下側に雑巾などを敷いてください。
④ 2人以上で、前面下部の脚部と背面上部の手かけをしっかりと持ち、静かに運ぶ
■横積みはしない(圧縮機の故障の原因)
■転居の場合、周波数の切り換えは不要(50/60Hz 共用)



警告

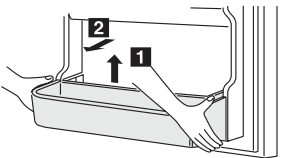
冷媒回路(配管)を傷つけない、ネジなどを打たない
可燃性冷媒を使用していますので、ガスがもれた場合、発火・爆発の恐れがあります。

はずしかた・取り付けかた

■取り付けるときは、逆の順序で行ってください。

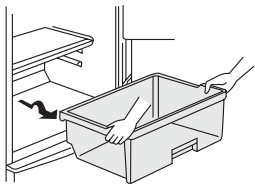
フリーポケット・ボトルポケット

- 1 左右を交互に持ち上げる。
(取り付けは固くしてあります。)
- 2 手前に引き出し、はずす。



野菜ケース

- 1 野菜ケースをいっぱい引き出す。
- 2 手前をもち上げ、さらに引き出してはずす。



故障かな?と思ったら

以下のことをお調べになり、それでも具合の悪いときは、すぐにお客様サポートセンターにご連絡ください。

こんなとき	お確かめください	こうしてください。こんな理由です。
全く冷えない	①電源は供給されていますか。	①電源プラグやブレーカーを確認してください。
よく冷えない 氷がとける	①温度調節が「適正」になっていますか。 ②据えつけ後、十分に時間がたっていますか。 ③周囲に隙間がなかったり、日が当たっているなど、放熱を妨げていませんか。 ④冷気の流れを妨げていませんか。またドアをひんぱんに開けたり、半ドアになっていませんか。	①室温により温度調節が必要な場合があります。 (6ページ参照) ■冬場冷凍室の冷えが弱いとき、冷凍室および冷蔵室温度調節つまみを「MAX」側にしてください。 ■夏場冷蔵庫の冷えが弱いとき、冷凍室温度調節つまみを「MIN」側にしてください。 ②夏場などは冷えるまでに24時間位かかることがあります。 ③正しく据えつけがされているかをご確認ください。 (4ページ参照) ④食品のつめすぎや半ドアなどがないかをご確認ください。 (6ページ参照)
冷蔵室の食品が凍結する	① 冷蔵室の温度調節が「MAX」になっていませんか。 ②水分が多い食品を棚の奥に入れていませんか。 ③周囲温度が5℃以下になっていませんか。	①冷蔵室の温度調節を「MIN」側にしてください。 (6ページ参照) ②豆腐・野菜・果物など、水分の多い食品や飲み物は手前に置いてください。 ③冷蔵室の温度調節を「MIN」にすると凍りにくくなります。
外側や庫内に露がつく 冷凍室に霜がつく	①ドアをひんぱんに開けたり、半ドアになっていませんか。 ②雨天など高湿な時ではありませんか。	①空気中の水分が冷やされると霜や露になります。わずかなドアの隙間でも霜や露がつくことがあります。 ②一時的に露がつくことがあります。乾いた布でふいてください。また冷凍室に霜がつきやすくなります。ドアを開ける時間を短くしてください。
ドアが開きやすい ドアが閉まらない	①ドアが食品やケースにあたっていませんか。食品をつめすぎではありませんか。 ②本体とドアの間に電源コードを挟んだりしていませんか。 ③据えつけにがたつきはありませんか。調整脚は床についていますか。	①食品は棚やケースより飛び出さないように収納してください。 ②取り除いてください。食品・電源コード・ビニール袋などはドアにはさまないようにまとめてください。 ③調整脚をおろして、前側を高めにし、やや前上がり気味にするとしまりやすくなります。 (4ページ参照) ドアが瞬間的に開くのは、閉めた時の風圧によるものです。
音が大きい 気になる音がする 次のような音は異常ではありません	①音が急に大きくなる。音色が変わる。 ②時々“ジュー”音や“ポコポコ(沸騰音)”音がする。 ③ドアを開けたときに時々、庫内から“ビシッ”音や水がたれているような音がする。	①霜取り後は、音が大きくなる場合があります。 ②冷媒(ガス)の流れる音です。 ③中に暖かい空気が入り、プラスチックが膨張し、発生するキシミ音です。
外側が熱くなる	冷蔵庫の側面や天井に放熱・露付防止パイプが、あるからです。 据えつけ直後や夏場は、特に外側が熱く(50～60℃)なることがあります。 冷やすために必要な機能で異常はありません。	

保障とアフターサービス

- 保証書の内容のご確認と保存のお願い
- 必ず「販売店印およびお買い上げ日」をご確認のうえ、お買い上げの販売店から受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間
- 「amadana」カスタマー登録のお勧め
- 「amadana」を愛着を持って末永くお使いいただくために、「amadana」カスタマー登録をお勧めしています。本カスタマー登録の特典や登録方法は別紙の通りです。
商品お買い上げ後1年以内が登録期限です。お早めにご登録ください。
- 修理をお申しつけされるとき
- 《保証期間中》 お客様サポートセンターにご連絡ください。保証書の記載内容に基づき修理いたします。
《保証期間を経過しているとき》 修理すれば使用できる商品は、ご要望により有料修理いたします。
- 補修用性能部品*の保有期間は、製造打ち切り後9年間です。
- ただし、「amadana」カスタマー登録に登録いただくと別規定を適用させていただきます。(詳細は別紙「amadana」カスタマー登録特典をご覧ください。)
- ※性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理料金の仕組み
- 修理料金は、技術料、部品代、出張料などで構成されています。**技術料** は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。**部品代** は、修理に使用した部品および補助材料代です。**出張料** は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。
- 上記の内容についての詳細、贈答、転居の場合など、その他、製品に関するお問い合わせ、ご質問がございましたら、弊社のお客様サポートセンターまでお気軽にご相談ください。

霜取り

霜取りの操作と霜取りの水の処置は不要です。

庫内温度をはかる

冷蔵庫は、JISに基づいて厳重な品質管理のもとで生産していますが、庫内の温度は冷蔵庫の据えつけ状態や外気温、使用条件などにより変化します。しかし、中の食品は8割前後が水分であるため、比熱が大きく、その温度は空気のように大きく変化はしません。従って一般の空気温度をはかる温度計は変化の少ない食品温度の測定ができません。そこで、空気温度の影響を受けにくく、食品に近い温度を示す冷蔵庫用温度計を発売しています。ご購入の際は、お客様サポートセンターにご相談ください。
なお、一般のアルコール温度計で冷蔵庫内の食品相当温度をはかる場合は、冷蔵庫中段の棚の中央に約100mlの水を入れた容器を置き、感温部を水中に3時間程度浸しておきますと、食品に近い温度が得られます。
■庫内温度はドア開閉の少ない夜間などに温度計を入れ、翌朝最初にドアを開けた時(温度が安定した時)に測定してください。

冷蔵庫の内容積について

■定格内容積は、日本工業規格(JIS C 9801)に基づき、庫内部品の内、冷やす機能に影響がなく、工具なしに外せる棚やケース等を、外した状態で算出したものです。この定格内容積には、食品収納スペースと冷氣循環スペースとを含みます。
■引き出し式貯蔵室(例えば、冷凍室、野菜室等)の場合、定格内容積と併せ食品収納スペースの目安を表示しています。
なお、回転扉式冷凍室の食品収納スペースについては、冷気の循環を考慮して定格内容積の65%程度を目安としてください。
食品の詰め込み過ぎは、庫内の冷えむらや電気のムダの原因となります。

冷凍室の性能について

この冷蔵庫の冷凍室の性能は **★☆☆**(フォースター)です。
冷凍室の性能は日本工業規格(JIS C 9607)に定められた方法で試験したときの冷凍室内の冷凍負荷温度(食品温度)によって表示しています。
■JISの試験方法は次のとおりです。
(1) 冷凍室内温度が0℃以下とならない範囲で最も低い温度になるよう調整して試験します。
(2) 冷蔵庫の据えつけ場所の温度は15～30℃の範囲を基準としています。
(3) 冷凍室定格内容積100L当り4.5kg以上の食品を24時間以内に-18℃以下に凍結できる冷凍室をフォースター室としています。
■冷凍食品の貯蔵期間
冷凍食品の貯蔵期間は、食品の種類、店頭での貯蔵状態、冷蔵庫の使用条件などによって異なり、上の表の期間は一応の目安です。

記 号	冷凍負荷温度 (食品温度)	冷凍食品貯蔵 期間の目安
★☆☆ (フォースター)	-18℃以下	約3ヵ月